



ハ高新時代!! 君も挑戦、ハ高で三刀流!!

「知の泉」に「緑の風」吹く

令和7年7月18日(金)

兵庫県立八鹿高等学校

校長 山本 宏治

34

令和7年度1学期終業式で、次の話をしました。

1学期始業式で「座っているだけでは、時という砂浜に足跡は残らない」というイギリスの格言を紹介しました。

歩いてこそ、足跡が残る。これはもう皆さん、考えるまでもなく真実であり、だからこそこうして日々の学校生活を一所懸命に全力で取り組んできた今、振り返ってみると必ず一人一人が残した足跡がそこにあるわけです。

今日は、皆さんそれぞれが、自身の足跡を確かめるためにいったん振り返って、そしてまた、前を向いて歩きだそう、という日なのですね。あなたが残した足跡を、人の足跡と比べる必要はありません。また、あなた自身で良い・悪い、というような評価をする必要もないのです。「確かに足跡を残している」ということが何より大切なのですから。

さて、夏休みを迎えるにあたって皆さんに伝えたいことは次の二つです。

まずは

若さを浪費しないで。つまり、「めざすところに向かってとことんエネルギーを注ぎ込もう!!」ということ。

そして、

学びを節約しないで。「まあこんなものでいいか」ではなく、「これでよし!!」と言えるまでやりきろう!!ということ。

これだけ変化の激しい世の中で、現状維持で変わらずにいることは決して前進することにはなりません。むしろ後退していつてしまうことになるでしょう。今日を契機に、皆さんの心に火がつく、そんな瞬間が訪れることを信じています。

結びに、あなたは大切な人です。あなたを大切に思ってくれる人、あなた自身が大切に思う人が、必ずいます。八鹿高校は、生きているってすばらしい、学校ってすばらしい、という気持ちが響き合う学園です。安全安心な夏休みを過ごし、2学期始業式には一回りも二回りも成長した皆さんと、ここで会いましょう。